

垂水中央病院の主な沿革

- 昭和62年3月
診療開始（9科75床）
- 平成元年10月
病棟126床稼働体制開始
- 平成7年3月
阪神淡路大震災医療救援班派遣
- 平成9年3月
老人保健施設コスモス苑開設
- 平成10年4月
日本医療機能評価機構認定
- 平成18年4月
垂水市より指定管理者指定
- 平成18年4月
鹿児島大学病院
臨床研修協力施設認定
- 平成21年4月
聖路加国際病院
臨床研修協力施設認定
- 平成23年5月
東日本大震災医師団派遣（宮城県）
- 平成24年5月
在宅療養支援病院取得
- 平成24年12月
へき地医療拠点病院指定
- 平成27年2月
日本医療機能評価機構認定（4回目）
- 平成28年4月
熊本地震医療団派遣
- 平成29年4月
垂水市地域包括ケアセンター開設

◎1 垂水中央病院外観 2 受付 3 リハビリテーション室



垂水中央病院の概要

●診療科（標榜）／14科

- ①内科
- ②循環器内科
- ③消化器内科
- ④神経内科
- ⑤放射線科
- ⑥呼吸器内科
- ⑦血液内科
- ⑧外科
- ⑨整形外科
- ⑩泌尿器科
- ⑪眼科
- ⑫耳鼻咽喉科
- ⑬糖尿病内科
- ⑭リハビリテーション科

●常勤医師数／13名

常勤医師13名に加え、鹿児島大学病院や聖路加国際病院からの研修医も従事しています。また、医学生も研修にきています。

●常勤看護師数／79名

常勤看護師79名に加え、非常勤看護師10名など看護部総勢112名のスタッフが従事しています。

同病院は、平成元年10月に病棟126床となり、平成28年度には、年間外来患者数約6万1千人、年間入院患者数約4万1千人の方が病院を利用しています。平成10年4月には、病院機能評価認定を全国で19番目、県内で2番目に取得し、良質な医療サービスを提供に力を入れています。認定は、日本医療機能評価機構が行うもので、地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる医療サービスの提供を目指して日常的に努力していることを示すものです。平成18年4月には「指定管理型（指定管理者・肝属郡医師会）」となりました。また、平成7年3月には阪神淡路大震災、平成23年5月には東日本大震災、平成28年4月には熊本地震に対する医療チームの派遣など、災害支援も行っています。

特集／開設30周年

進化する垂水中央病院

1987

昭和62年
3月21日



◎昭和62年3月21日垂水中央病院落成祝賀会の様子／右写真：テープカットの様子（左から：八木市長、津崎肝属郡医師会長・柚木病院長）

2017

平成29年
6月17日



◎平成29年6月17日垂水中央病院30周年記念式典の様子／左写真：尾脇市長、写真中央：池田肝属郡医師会長

今月の特集は、開設30周年を迎えた垂水市立医療センター垂水中央病院についてご紹介します。同病院は、昭和62年3月23日に、全国初の公設民営型病院として診療9科75床でスタートしました。昭和62年3月21日には、開設を記念した祝賀会が、病院に隣接する市公設市場で開催され、市・県・肝属郡医師会・振興会など650名が出席し、盛大に開催されたとして、当時の市報（昭和62年4月15日・第245号）に記録されています。開設30周年を迎えた今年、平成29年6月17日に、ホテルアザレアにて、記念式典が開催され、開設者である尾脇市長をはじめ、指定管理者（運営主体）である肝属郡医師会より池田誠会長ら関係者が出席しました。